

みなさんの声かけにより、地域の子どもを守っていきましょー!

ふなやま

第23号

No Charity, but a Chance!

(保護より、機会を)

～視察研修を通して学んだこと～

研修部長・六人部中学校長 曾根

九月十日に研修として、京都市南区にあるオムロン京都太陽株式会社を視察させていただきました。

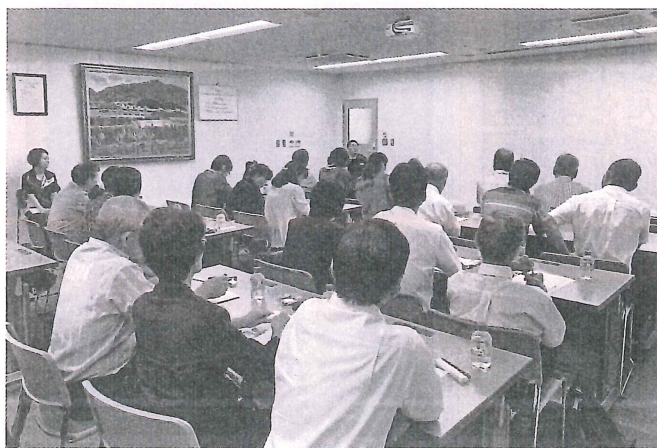
オムロン京都太陽株式会社は、オムロン株式会社と社会福祉法人太陽の家の共同出資会社として設立されました。企業と福祉の両面をつなぐ役割を果たすことで、障がい者の雇用就労の機会をつくり、仕事の安定供給と事業経営の安定を図られています。そして障がい者が、自ら働くことにより生きがいが見いだせる環境づくりに努めておられます。今回の視察研修は、障がい者が働きやすいように工夫をした治具や機械、障がい者が働けるような心身のサポートの仕方について学ぶことを目的として実施しました。

会社に到着すると、職員の皆さんに温かく迎えていただき、視察研修がスタートしました。最初に、研修室で企業理念や会社創立からの歩み等のお話を聞いた後、工場内を見学しました。様々な作業工程について、障がい者の作業の様子を、説明を受けながら見学していききました。どの作業現場でも、障がい者が働きやすい環境づくりの様々な工夫がありました。例えば、車椅子に座ったまま作業しやすい作業台の高さや奥行き、組み立てる部品や工具の配置なども作業の流れに合わせて扱いやすいように、一人一人の障がいの程度や内容を把握し、安全性はもろろん効率と生産性も兼ね備えた環境づくりに努めておられました。また、作業者の特性にあわせた生産

治具や補助具、半自動機を、障がい者自らが設計・製作するなど、改善を行って仕事の範囲を増やすことで、作業拡大と生産性の向上が図られていました。加えて、それぞれの作業場には、働いておられる障がい者をサポートする福祉スタッフが必要とあって、作業の様子を見守りながら適切な支援を行っておられました。作業環境などのハード面の整備だけでなく、人による見守りや支援体制などのソフト面の環境整備がされていると感じました。



研修を終えて、オムロン京都太陽株式会社の社憲「われわれの働きでわれわれの生活を向上し、よりよい社会をつくりましょー」を再度読み深め、私にできることを考えました。障がいのある方が自立、そして社会参画や社会貢献を果たし、すべての人が生きる喜びを感じられる社会づくりに向けて、学校教育を通して、未来の社会の担い手となる子どもたちを育てたいと決意を新たにできた研修でした。



文化祭のクラフトコーナーを

お手伝いさせていたただいて

下六人部保育園保護者会 島

下六人部学区秋の文化祭にて、下六人部保育園保護者会から代表三名で、クラフトコーナーのお手伝いをさせていただきました。

下六人部地区福祉推進協議会の方々が、予め布を覆い、飾りつけるクリスマスツリー、可愛いリース、おしゃれな飾り瓶を制作できるよう、ビーズやリボン、手芸用品の準備を入念に、品数豊富に整えてくださっていました。

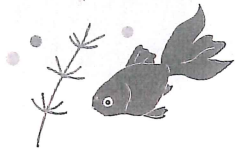
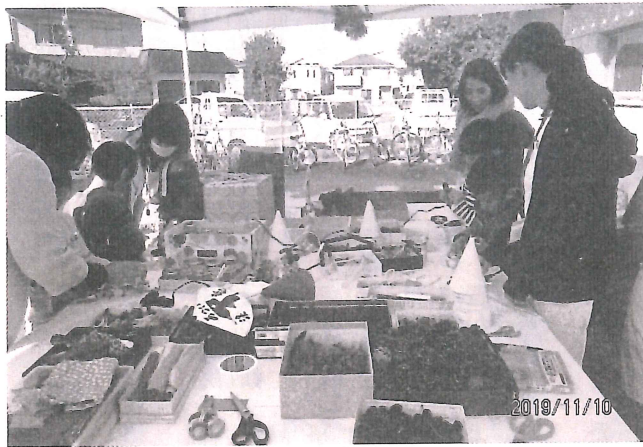
天候にも恵まれ、開始時間前から、終了間際まで、たくさんの子どもが、目をキラキラと輝かせ、どれを作ろうか考え、グルーガンを器用に使いこなして、松ぼっくりや、モール、ビーズなどを貼り付け、頑張つて製作している様子を見ることができ、あつという間に時間が過ぎました。

たくさんさんの明るく元気いっぱいの子どもが、未就学児と交流し、貴重な体験をさせていただきました。

子どもたちが、自分の素敵な作品に満足し「ありがとう!」と言ってくれ、私も温かい気持ちになり嬉しく思いました。

息子が小動物ふれあいコーナーでもらった金魚たちが、今では大きく成長

し、まるで踊っているように水槽の中を泳いでいます。あの楽しかった時を思い出します。ありがとうございます。



下六人部文化祭について

光保育園保護者会 荒木

今回、光保育園保護者会を代表して私を含めた三名で下六人部文化祭に初めて参加させていただきました。

このようなお祭り事に裏方として参加することは初めての経験でしたが、当初は少々不安を感じておりましたが、運営の方々に温かく迎えられたのと、丁寧に指導していただけたことで安心して参加することができました。

仕事内容は主にうどん販売にあたり、の麺の湯切り、具材の盛り付け等でしたが、冬にもかかわらず汗だくになってしまう程の忙しさで、運営の方々の大変さを身をもって知るよい機会となりました。

また、このような行事で初めて裏方という立場になり、自分が与えられる側から与える側になったことによる少々の切なさや、小さな子どもたちや地域の方々に笑顔で「美味しい」と言っていただけときの嬉しさなど、ほんの数時間の出来事でしたが様々なことを感じる事ができました。

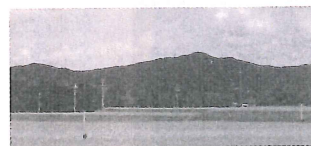
今後このような行事には積極的に参加し、少しでも多くの人たちと接することで今後の人生に生かせることを学んでいきたいと思えます。



編集後記

誰にとっても幸せな地域づくりのために、人と人との出会い、つながりやふれあいといったことがとても大切になってきます。福祉推進協議会では引き続き、地域の絆を深める様々な事業に取り組んでまいります。

後になりましたが、原稿の執筆をお世話になりました皆様方には、お忙しいところ快く引き受けていただき感謝申し上げます。



岩間からの「ふなやま」の遠望です。

◆委員
大田 足立
高橋 武内
竹中 山内
(アイウエオ順)